

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年8月15日 (2013.8.15)

【公開番号】特開2012-90774(P2012-90774A)

【公開日】平成24年5月17日 (2012.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2012-019

【出願番号】特願2010-240723(P2010-240723)

【国際特許分類】

D 0 6 F 58/28 (2006.01)

D 0 6 F 58/02 (2006.01)

D 0 6 F 25/00 (2006.01)

【F I】

D 0 6 F 58/28 C

D 0 6 F 58/02 F

D 0 6 F 25/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月28日 (2013.6.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外箱と、

有底円筒状をなし、前記外箱内に設けられた外槽と、

洗濯物が収容可能な有底円筒状をなし、周壁に前記外槽と連通する孔を有し、前記外槽内に当該外槽の中心軸を中心に回転可能に設けられ、当該洗濯物の乾燥に用いられるドラムと、

前記外槽と連結している入口および出口を有する循環ダクトと、

前記外槽内の空気を前記入口から前記循環ダクト内を通し前記出口から前記外槽内へ戻して当該空気の循環を行う送風機と、

前記循環ダクト内に設けられ、前記循環ダクト内の空気を冷却するエバポレータと、

前記循環ダクト内に設けられ、前記エバポレータに比べて前記送風機の運転状態での空気の流れの下流側に配置されたものであって前記循環ダクト内の空気を加熱するコンデンサと、

冷媒を前記コンデンサおよび前記エバポレータに供給するとともに、出力が変更可能であり、当該出力が小さくなるほど前記冷媒の供給量が少なくなるコンプレッサと、

乾燥行程として通常の乾燥行程としわ伸ばし行程を実行可能であり、しわ伸ばし行程では、前記コンプレッサを前記外槽内に入る空気の温度が 65 以下となり且つ前記エバポレータの入口の温度が 30 以下となる予め決められた出力で駆動する制御を行い、且つ前記循環ダクトを流れる風量が通常の乾燥行程よりも多くなるように前記送風機を駆動する制御を行う制御手段と、

を備えていることを特徴とするランドリー機器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

本発明の実施形態のランドリー機器は、外箱と、有底円筒状をなし、前記外箱内に設けられた外槽と、洗濯物が収容可能な有底円筒状をなし、周壁に前記外槽と連通する孔を有し、前記外槽内に当該外槽の中心軸を中心に回転可能に設けられ、当該洗濯物の乾燥に用いられるドラムと、前記外槽と連結している入口および出口を有する循環ダクトと、前記外槽内の空気を前記入口から前記循環ダクト内を通し前記出口から前記外槽内へ戻して当該空気の循環を行う送風機と、前記循環ダクト内に設けられ、前記循環ダクト内の空気を冷却するエバポレータと、前記循環ダクト内に設けられ、前記エバポレータに比べて前記送風機の運転状態での空気の流れの下流側に配置されたものであって前記循環ダクト内の空気を加熱するコンデンサと、冷媒を前記コンデンサおよび前記エバポレータに供給するとともに、出力が変更可能であり、当該出力が小さくなるほど前記冷媒の供給量が少なくなるコンプレッサと、乾燥行程として通常の乾燥行程としわ伸ばし行程を実行可能であり、しわ伸ばし行程では、前記コンプレッサを前記外槽内に入る空気の温度が65以下となり且つ前記エバポレータの入口の温度が30以下となる予め決められた出力で駆動する制御を行い、且つ前記循環ダクトを流れる風量が通常の乾燥行程よりも多くなるように前記送風機を駆動する制御を行う制御手段と、を備えていることを特徴としている。